

大学番号：私251

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

四天王寺大学 人文社会学部 国際キャリア学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園  
平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 IR・戦略統合課

職名・氏名 課長 マツ オガ ケンジ  
松 永 賢治

電話番号 072-956-0062

（夜間） 072-956-3181

F A X 072-956-9893

e-mail ircenter@shitennoji.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 四天王寺学園

## (2) 大学名

四天王寺大学

## (3) 大学の位置

〒583-8501  
大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)	(タキトウ ソンジュン) 瀧藤 尊淳 (平成25年4月)	任期満了による変更(25)
学長	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	(ニシオカ ソシュウ) 西岡 祖秀 (平成24年4月)	任期満了による変更(24)
学部長	(ミナミタニ ミホ) 南谷 美保 (平成20年4月)	(フジタニ アツオ) 藤谷 厚生 (平成27年4月)	任期満了による変更(27)
学科長等	(オカザキ ケイジ) 岡崎 桂二 (平成24年4月)	(イガワ コウジ) 井川 好二 (平成27年4月)	任期満了による変更(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文社会学部 国際キャリア 学科 学士(人文社会学)	4年	90人	3年次 5人	370人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	90人 ( 5 ) [ - ]	-	90人 ( 5 ) [ - ]	-	90人 ( 5 ) [ - ]	-	90人 ( 5 ) [ - ]	-	1.10 倍	一倍	
志願者数	281 ( - ) [ 0 ]	-	342 ( - ) [ 0 ]	-	277 ( 3 ) [ 0 ]	-	332 ( 0 ) [ 0 ]	-			
受験者数	264 ( - ) [ 0 ]	-	331 ( - ) [ 0 ]	-	262 ( 3 ) [ 0 ]	-	319 ( 0 ) [ 0 ]	-			
合格者数	246 ( - ) [ 0 ]	-	268 ( - ) [ 0 ]	-	242 ( 3 ) [ 0 ]	-	267 ( 0 ) [ 0 ]	-			
B 入学者数	83 ( - ) [ 0 ]	-	119 ( - ) [ 0 ]	-	99 ( 3 ) [ 0 ]	-	97 ( 0 ) [ 0 ]	-			
入学定員超過率 B/A	0.92		1.32		1.10		1.07				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 83	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 119	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( 1 ) 100	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 97	[ - ] ( - ) 0	
2年次	/		[ - ] ( - ) 75	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 110	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( 1 ) 85	[ - ] ( - ) 0	
3年次			/		[ - ] ( - ) 70	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 105	[ - ] ( - ) 0	
4年次					/		[ - ] ( - ) 70	[ - ] ( - ) 0	
計			[ - ] ( - ) 83	[ - ] ( - ) 194			[ - ] ( 1 ) 280	[ - ] ( 1 ) 357	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度入学者	83人	16人	平成24年度	7人	0人	家庭の事情3名、専門学校への入学1名、就職1名、経済的理由1名、勉学意欲の喪失1名	19.3%
			平成25年度	7人	0人	除籍3名、家庭の事情1名、健康上の理由1名、留学1名、結婚1名	
			平成26年度	1人	0人	勉学意欲の喪失1名	
			平成27年度	1人	0人	除籍1名	
平成25年度入学者	119人	13人	平成25年度	8人	0人	経済的理由2名、転出2名、勉学意欲の喪失1名、除籍1名、その他2名	10.9%
			平成26年度	5人	0人	勉学意欲の喪失2名、転出1名、就職1名、その他1名	
			平成27年度	0人	0人		
平成26年度入学者	99人	15人	平成26年度	15人	0人	専門学校への入学4名、家庭の事情3名、転出3名、除籍2名、就職1名、留学1名、勉学意欲の喪失1名	15.2%
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度入学者	90人	0人	平成27年度	0人	0人		0.0%
合計	391人	44人					11.3%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                               ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<人文社会学部 国際キャリア学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	仏教Ⅰ(瞑想)	1前	1								兼4	
	仏教Ⅱ(写経)	1後	1								兼4	
	仏教概説	1前・後	2								兼4	
	現代社会と人権	1前・後	2								兼4	5 教育課程の充実を図るために担当者を追加(27)
共通教育科目 教養(基礎)	仏教実践演習	2・3前・後		2							兼4	3 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	聖徳太子概説	2・3前・後		2							兼1	3 履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(27)
	現代社会と仏教	2・3前・後		2							兼2	1 履修人数の関係上クラス数減に伴い担当者を調整(26)
	仏教文化研究	2・3後	(注1)	2							兼1	2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)
	仏教文化研究	2・3前・後		2							兼1	1 題目科目として単位数を表外に記載(24)
	大学基礎演習Ⅰ	1前	2			1	3	2				3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
	大学基礎演習Ⅱ	1後	2			2	0	0				2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	文章表現基礎	1前・後	2			3	2	2				3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(25)
	実践文書作成	1後	2			2	1	1	1			2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(24)
	大学基礎演習Ⅱ	1後	2			2	1	2				2 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
共通教育科目 教養(一般)	日本国憲法	1前・後		2							兼2	3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	法学(国際法を含む)	1前		2							兼2	2 学生の過剰な履修を防ぎ、学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)
	政治学	1・2・3前		2							兼1	2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(26)
	経済学	1・2・3後		2							兼1	2 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)
	社会学	1・2・3前		2							兼3	3 教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)
	心理学Ⅰ	1・2・3前		2							兼1	6 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(27)
	心理学Ⅱ	1・2・3後		2							兼4	4 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	哲学	1・2・3前・後		2							兼3	3 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	スポーツⅠ	1・2・3前		1							兼2	7 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(24)
	スポーツⅡ	1・2・3後		1							兼8	8 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
体育講義	1・2後		2							兼1	1 保育士資格指定科目のため履修不可(24)	
共通教育科目 教養(一般)	共通教育研究	1・2・3前・後		2							兼5	5 共通教育研究として開講した「パフォーマンス実践演習」は、日本学科の教育課程の充実を図るため日本学科専門教育科目内の「日本語・日本文学特殊講義」として開講する。(27)
	単位互換科目	1・2・3前・後	(注1)	2							兼4	4 学生の学習効果を高める理由により、配当年度変更および担当者追加(26)
	知識・技能研究Ⅰ	1・2・3前・後	(注1)	2								4 題目科目として単位数を表外に記載(24)
	知識・技能研究Ⅱ	1・2・3・4前・後	(注1)	2								(注)の付番変更(24)

共通教育科目 教養（情報と数理）	情報処理演習Ⅰ	1前・後	2						兼 8 2	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	情報処理演習Ⅱ	1前・後	2	(注1)					兼 2 1	※1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	情報処理演習応用	2・3前・後	2						兼 3 4	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 題目科目として単位数を表外に記載 (24)
	数学演習Ⅰ	1前・後 1前・後 1後	2						兼 8 4	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	数学演習Ⅱ	1前・後	2						兼 3 4 3	学生の学習効果を高める理由により、 配当学期を変更(27) 学生の学習効果を高める理由により、 配当学期を変更(25) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	生命の科学	1・2前・後	2						兼 4 1	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 連間兼任教授退職に伴い担当者変更 (27)
	環境の科学	1・2後 1・3前・後	2						兼 2 3	学生の学習効果を高める理由により、 配当学期を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) ※2
	化学の世界	1・2前・後	2						兼 1 2	連間兼任教授退職に伴い担当者変更 (27) 学生の学習効果を高める理由により、 配当学期を変更(27)
	物理の世界	1・2前・後	2						兼 2 3	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	地球と宇宙	1・2前・後 2前	2						兼 2 3	教育課程の充実を図るため担当者を 追加(27) 教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	先端技術	1・2前	2						兼 4	集中、オムニバス 学生の学習効果を高める理由により、 配当年度を変更(24)
共通教育科目 （英語） 目外国語	英語Ⅰ	1前	※						※3	
	英語Ⅱ	1後								
	英語Ⅲ	2前								
	英語Ⅳ	2後								
共通教育科目 外国語（第二外国語）	ドイツ語Ⅰ	1前	1						兼 6 5	教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	ドイツ語Ⅱ	1後	1						兼 4 5	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	ドイツ語Ⅲ	2前	1						兼 1 5	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	ドイツ語Ⅳ	2後	1						兼 1 8	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を 追加(27)
	フランス語Ⅰ	1前	1						兼 7 8	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を 追加(27)
	フランス語Ⅱ	1後	1						兼 7 5	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 履修人数の関係上コマ数調整により 担当者を変更(27)
	フランス語Ⅲ	2前	1						兼 6 8	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) ※4 履修人数の関係上コマ数調整により 担当者を変更(27)
	フランス語Ⅳ	2後	1						兼 6 8	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26) 教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	中国語Ⅰ	1前	1						兼 1 6	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	中国語Ⅱ	1後	1						兼 8 6	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	中国語Ⅲ	2前	1						兼 6 2	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	中国語Ⅳ	2後	1						兼 6 2	教育課程の充実を図るため担当者を 変更(26)
	日本語Ⅰ	1前	1						兼 1	
	日本語Ⅱ	1後	1						兼 1	
	日本語Ⅲ	2前	1						兼 1	
	日本語Ⅳ	2後	1						兼 1	

共通教育科目 キャリア教育	キャリア形成	1・2・3前・後		(注1) 2		1			22 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 16 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26) 10 題目科目として単位数を表外に記載(24) 3
	社会福祉概論	1・2・3前・後		2					兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 2
	社会福祉行政	1・2・3前・後		2					兼 4 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 3
	児童福祉論	2・3・4前・後		2					兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)
	老人福祉論	1・2・3前・後		2					兼 2
	障害者福祉	1・2・3前 1・2・3前		2					兼 1 集中 1
	レクリエーション論	1・2・3前・後		2 (注4) (注3) (注5) (注4) (注6)					兼 1 レクリエーション・インストラクター資格科目のため履修不可(24)
	国内実地研修	1・2・3・4前・後							
	海外実地研修	1・2・3・4前・後							
	海外語学研修	1・2・3・4前・後							海外留学を推奨し単位認定するため(24)
学科共通領域	英語圏文化概説	1前		2					兼 1
	アジア文化概説	1後		2		1			兼 1
	世界体験入門	1前		2		0			兼 0 専任教員採用により担当者変更(26)
	国際関係論	2前	2		4		1		兼 4 里見教授退職に伴い、担当者変更(25)
	国際経済学	2後		2					兼 1
	貿易理論	3前		2		0	1	4	担当者の職位変更(24)
	英米文化論	3前		2	4				兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	中国文化論	3前 3前		2	1				
	異文化理解	3後		2		1 2			兼 1 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(27) 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加および追加(27) 4 教育課程の充実を図るため専任教員を追加(25)
	英文法 I	1前	2		4	1			兼 4 教育課程の充実を図るため担当者を追加および追加(27) 2 教育課程の充実を図るため専任教員を追加(25)
	英文法 II	1後	2		4	1			兼 4 教育課程の充実を図るため専任教員を追加(25) 3
	Extensive Reading初級 I	1前	2		1	4			兼 2 坂本准教授退職により変更(27) 3
	Extensive Reading初級 II	1後	2		1	4			兼 2 坂本准教授退職により変更(27) 2
	Extensive Reading中級 I	2前	2		1	1			兼 4 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	Extensive Reading中級 II	2後	2		1	1			兼 1
	ベーシックコミュニケーション I	1前	2		4	1	1		兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 4 教育課程の充実を図るため専任教員に担当者を変更(25)
	ベーシックコミュニケーション II	1前	2		4	4	1		兼 4 教育課程の充実を図るため専任教員に担当者を変更(25) 1
	ベーシックコミュニケーション III	1後	2		1	1	1		兼 2 教育課程の充実を図るため専任講師に担当者を変更(27) 2
	ベーシックコミュニケーション IV	1後	2		1	4	1		兼 1 Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27) 1 教育課程の充実を図るため専任教員に担当者を変更(25)
	ベーシックコミュニケーション V	2前	2		4	1	1		兼 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 2 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 4 教育課程の充実を図るため専任教員に担当者を変更(25)
	ベーシックコミュニケーション VI	2前	2		4	4	1		兼 4 教育課程の充実を図るため専任講師に担当者を変更(27) 1
	ベーシックコミュニケーション VII	2後	2		1	2	1		兼 1 Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27) 1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
ベーシックコミュニケーション VIII	2後	2		4	2	1		兼 2 教育効果の充実を図るため担当者を追加(25) 1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 4 赤松教授退職・専任教員採用により担当者変更(26)	
キャリア英語入門 I	1前	2		3	4	4		兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 1 赤松教授退職・専任教員採用により担当者変更(26)	
キャリア英語入門 II	1後	2		3	4	4		兼 1 教育課程の充実を図るため担当者を追加(27) 1 赤松教授退職・専任教員採用により担当者変更(26)	



学科 共通 領域	中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ	2前 2後		2 2		1 1 3				0 兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)	
	国際キャリア演習	2・3・4前・後 1後		2		<del>4</del> 0	1	1		兼 1	赤松教授退職により担当者を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26)	
	英語圏文学概説	1前		2		4				兼 1	赤松教授退職により担当者を変更(26)	
	英米文学史 英語教育概説 実践英語音声学	1後 1後 1後		2 2 2		4 4 1		1		兼 1	赤松教授退職により担当者を変更(26)	
	英語学概説 英語学	2前 2後 3後		2 2		1 1		<del>4</del>		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26)	
	英国史 米国史 言語学概論	3前 3後 3後		2 2 2		1 1 1				兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26)	
	専門演習Ⅰ	3前	2			6 7 6	2	<del>4</del> 0 4	2	兼 1	専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)	
	専門演習Ⅱ	3後	2			6 7 6	2	<del>4</del> 0 4	2	兼 1	専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)	
	専門演習Ⅲ	4前	2			5 6 7	2	<del>4</del> 0 4	1	兼 1	坂本准教授退職により変更(27) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)	
	専門演習Ⅳ	4後	2			5 6 7	2	<del>4</del> 0 4	1	兼 1	坂本准教授退職により変更(27) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)	
	卒業研究	4後	4			6 6 7		<del>4</del> 0 4	1	兼 1	坂本准教授退職により変更(27) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25) 教授人数の誤りにより訂正(24) 担当者の職位変更(24)	
	英語 文化 コミュニ ケーション 領域	キャリア英語Ⅰ(ベーシック)	2前 2前・後 2後		2		1 2 3				兼 1	履修指導上の効果を図る目的により担当者を変更(27) 赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)
		キャリア英語Ⅱ(ベーシック)	2前・後		2		2 3				兼 1	赤松教授退職により変更(26)
		キャリア英語Ⅲ(インターメディアット)	3・4前・後		2		2 2		0		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)
キャリア英語Ⅳ(インターメディアット)		3・4前・後 3・4後		2		4 0		4		兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 赤松教授退職により変更(26)	
キャリア英語Ⅴ(アドバンス)		3・4前・後 3・4前		2		4 0		1		兼 1	学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26) 赤松教授退職により変更(26)	
キャリア英語Ⅵ(アドバンス)		3・4前・後		2		4 1		1		兼 1	学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(26)	
Extensive Reading上級Ⅰ Extensive Reading上級Ⅱ		3前 3後		2 2		2 1				兼 1 兼 1	履修指導上の効果を図る目的により担当者を変更(27) Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27)	
アドバンスコミュニケーションⅠ		3前		2		2		1		兼 1	教育課程の充実を図るため専任教員を追加(26) Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27)	
アドバンスコミュニケーションⅡ		3前		2		0 2		1		兼 1 兼 2	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	
アドバンスコミュニケーションⅢ		3後		2		0 4		1		兼 1 兼 1	Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)	
アドバンスコミュニケーションⅣ アドバンスコミュニケーションⅤ		3後 4前		2 2		0 4 0		1 1		兼 1 兼 1	Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27) 教育課程の充実を図るため担当者を変更(27) 教育課程の充実を図るため担当者を追加(26)	

英語文化コミュニケーション領域	アドバンスコミュニケーションVI	4前		2			±	1		兼 1	Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27)	
	アドバンスコミュニケーションVII	4後		2			±	1			Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27)	
	アドバンスコミュニケーションVIII	4後		2			±	1		兼 1	Junge准教授退職に伴い新任専任講師を採用(27)	
	Reading (Culture)	2前 2前・後		2		1	1					教育課程の充実を図るため担当者を追加(27)
	Reading (Society)	2後 2前		2		4						学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(27)
	Reading (Literature)	2前・後 2前 3前・後		2		0	4			兼 1	赤松教授退職により変更(26) 学生の学習効果を高める理由により、開講学期を変更(26) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(25) 学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(27)	
Reading (Language)	3前		2		1	1					教育課程の充実を図るため専任教員を追加(26)	
国際理解領域	国際理解教育	2後		2			0			兼 1	専任教員採用により担当者変更(26)	
	国際コミュニケーション論	3前		2		4		1			里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)	
	国際法	4後		2					1	兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)	
	国際政治学	3後 4後		2			0				専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)	
	国際問題論	4前 3前		2		4		1			学生の学習効果を高める理由により配当学期を変更(27)	
	国際NPO・NGO論	4前		2				1			学生の学習効果を高める理由により配当学年を変更(27)	
	社会情報論	3後		2		4		1		兼 4	専任教員採用により担当者変更(26) 里見教授退職により変更。 平成25年度中に新たに採用予定。(25)	
	環境社会学	3前		2						兼 1		
	環境問題論	3後		2						兼 1		
	異文化共生論	2前		2						兼 1		
	エリアスタディ I (北アメリカ)	2前		2		4				兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(27)	
	エリアスタディ II (中国)	2前		2		1		0				
	エリアスタディ III (オセアニア)	2後 未開講		2		4				兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)	
	エリアスタディ IV (インド)	2後		2						0	履修人数の関係上平成27年度は未開講(27)	
	エリアスタディ V (ヨーロッパ)	3前		2		1				兼 4		
エリアスタディ VI (アジア)	3後 2前・後		2		1		1			学生の学習効果を高める理由により配当学年を変更(27)		
国際理解特殊講義	2前・後		2		2				兼 1	教育課程の充実を図るため担当者を変更(26)		
キャリア支援領域	ビジネス英語 I	2前		2		1	1				教育課程の充実を図るために専任教員を追加(26) 教育課程の充実を図るために専任准教授に担当者を変更(25) 教育課程の充実を図るために専任教員を追加(26)	
	ビジネス英語 II	2後		2		1	1				教育課程の充実を図るために専任准教授に担当者を変更(25)	
	ビジネス中国語 I	3前		2		1				兼 4	0 教育課程の充実を図るため専任教授に担当者を変更(27)	
	ビジネス中国語 II	3後		2		1				兼 4	0 教育課程の充実を図るため専任教授に担当者を変更(27)	
	情報特別演習 I	1後 2後		2			0			兼 1	坂本准教授退職により担当者を変更(27)	
	情報特別演習 II	2前		2		4				兼 1	学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(25)	
	中国語情報処理演習	2前		2		1				兼 4	0 教育課程の充実を図るため専任教授に担当者を変更(27)	
	マクロ経済学	1後		2						兼 1		
	ミクロ経済学	2前		2						兼 1		
	人的資源管理論	3後		2						兼 1		
	産業組織心理学	4前		2						兼 1		
	コンテンツ産業論	2後		2						兼 1		
	貿易実務 I	3前		2			1	0			担当者の職位変更(24)	
	貿易実務 II	3後		2			1	4			担当者の職位変更(24)	
	国際ビジネス論	2前		2		1						
	金融システム論	3後		2		1						
	グローバルファイナンス	2後		2		1		0				
グローバルビジネス研究	3・4前・後		2			1	4				担当者の職位変更(24)	

- 基礎教育科目必修科目6単位
  - 共通教育科目38単位（必修科目8単位、選択科目30単位）
    - ※1の内、いずれか2科目4単位を選択必修とする。
    - ※2の内、いずれか2科目4単位を選択必修とする。
    - ※4の内、いずれかの同一外国語を選択し、4単位を選択必修として修得する。
- 但し、日本語を母語としない者は日本語Ⅰ～Ⅳを履修できる。  
上記124単位以上を修得することを卒業の要件とする。

- (注1) 各授業科目に関連した内容の科目を題目科目として設置し、それぞれ2単位付与する。  
 (注2) 単位は他大学との単位互換制度によって認定されたものとする。  
 (注3) 別に定める規程に基づき単位を認定する。  
 (注4) 国内実地研修の単位認定については、別に定める。  
 (注5) 海外実地研修の単位認定については、別に定める。  
 (注6) 海外語学研修の単位認定については、別に定める。  
 (注7) (注1)・(注2)・(注4)・(注5)・(注6)の単位数については、小計及び合計に含まず。

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 26	科目 139	科目 0	科目 165	科目 26	科目 140	科目 0	科目 166	海外留学を推奨し単位認定するため「海外語学研修」を新規追加したため1科目増(24)
				[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	エリアスタディーⅣ(インド)	2	2	専門	選択	履修者が僅少のため未開講とした。代替措置は無し。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講科目による学生の影響は特にない。  
 ・ 学生への周知方法については、オリエンテーションやガイダンスで履修要覧を使用し、履修方法・内容について学生へ周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{165} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (平成24年2月)	留意事項なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月8日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年5月)	既設学部等（四天王寺大学短期大学部生活ナビゲーション学科ライフケア専攻）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	<p>・定員充足率を満たすため、生活ナビゲーション学科ライフケア専攻に在籍する学生の出身高等学校や近隣の高等学校へ、当該所属専任教員と在籍生による高校訪問を平成24年度より実施している。</p> <p>・高校訪問では、福祉・介護職（介護福祉士）の魅力を紹介するなど、リーフレットを作成し、入学から就職までのストーリーを理解できるよう広報を行った。</p> <p>・競合する専門学校などと比べ、経済的な負担の差を少なくするため、平成27年度入学生より入学金相当額を支給する「介護福祉士育成奨学金」制度を創設した。</p> <p>・大阪の主要ターミナルにあるあべのハルカスサテライトキャンパスにて、当該専攻独自のオープンキャンパスを実施。</p> <p>・その他に、高大連携事業として、大阪府立阪南高等学校と介護実習の実践講座を開催。本学の介護福祉士養成の広報に努めている。</p> <p>今後も、より一層、高等学校や高校生に本学の介護福祉士養成課程の認知度向上と当該専攻の志願者増加を図るため、所属専任教員による高校訪問と介護福祉士育成奨学金制度の継続。また、あべのハルカスサテライトキャンパスにおけるオープンキャンパスについても、立地を活かした学生募集広報を継続し、当該専攻の志願者増加を図る。</p> <p>(新たな取組み) ・平成27年度入学生より、所属教員全員による、介護福祉士になるための理論と実践技術が学べる新規科目を開設。この科目により、学生が、1年次から2年次を通し介護福祉士としての職業観および理論と実践を深めていく。</p> <p>・学生募集面では、当該専攻の学生の就職や卒業後のキャリアモデルについて、高校生に提示できるよう四天王寺関係法人の社会福祉法人四天王寺福祉事業団と、連携強化を進めていく。</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。